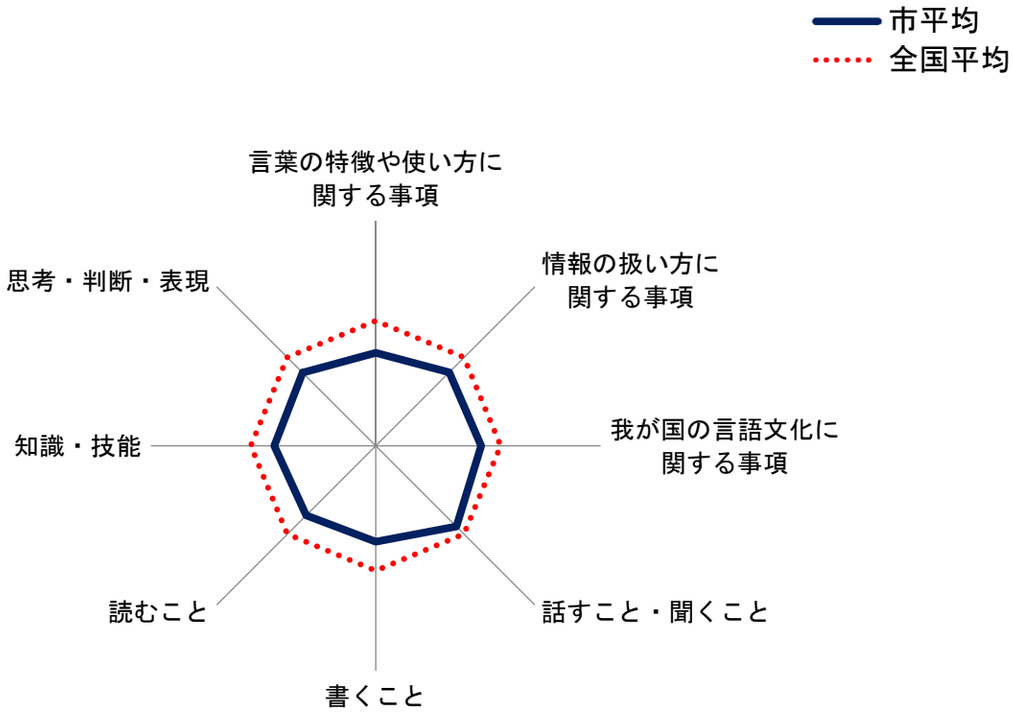
中学校

令和５年度　全国学力・学習状況調査
（各教科観点別等の状況）結果

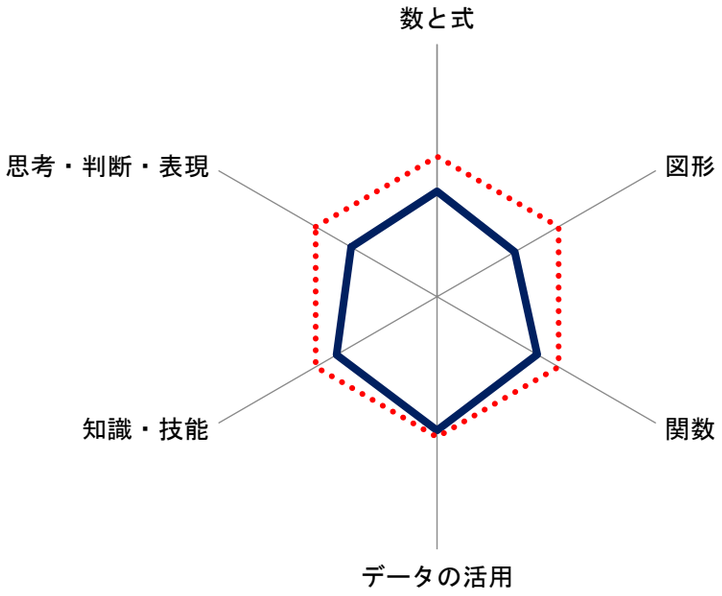
四国中央市

○　教科に関する調査（全国の平均正答率との差）

【国語】



【数学】



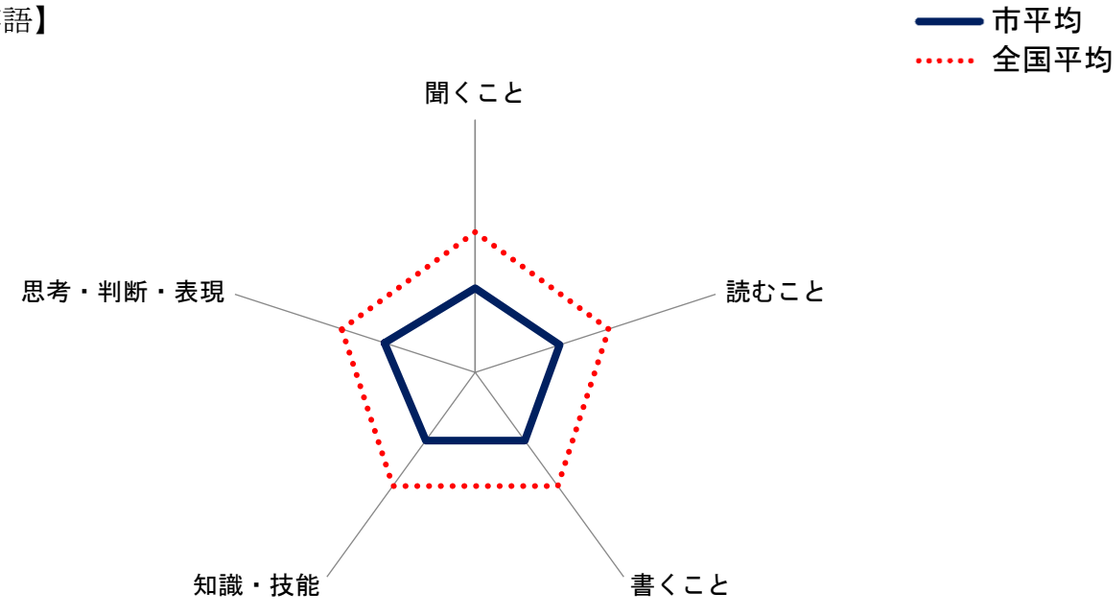
中学校

令和５年度　全国学力・学習状況調査
（各教科観点別等の状況）結果

四国中央市

○　教科に関する調査（全国の平均正答率との差）

【英語】

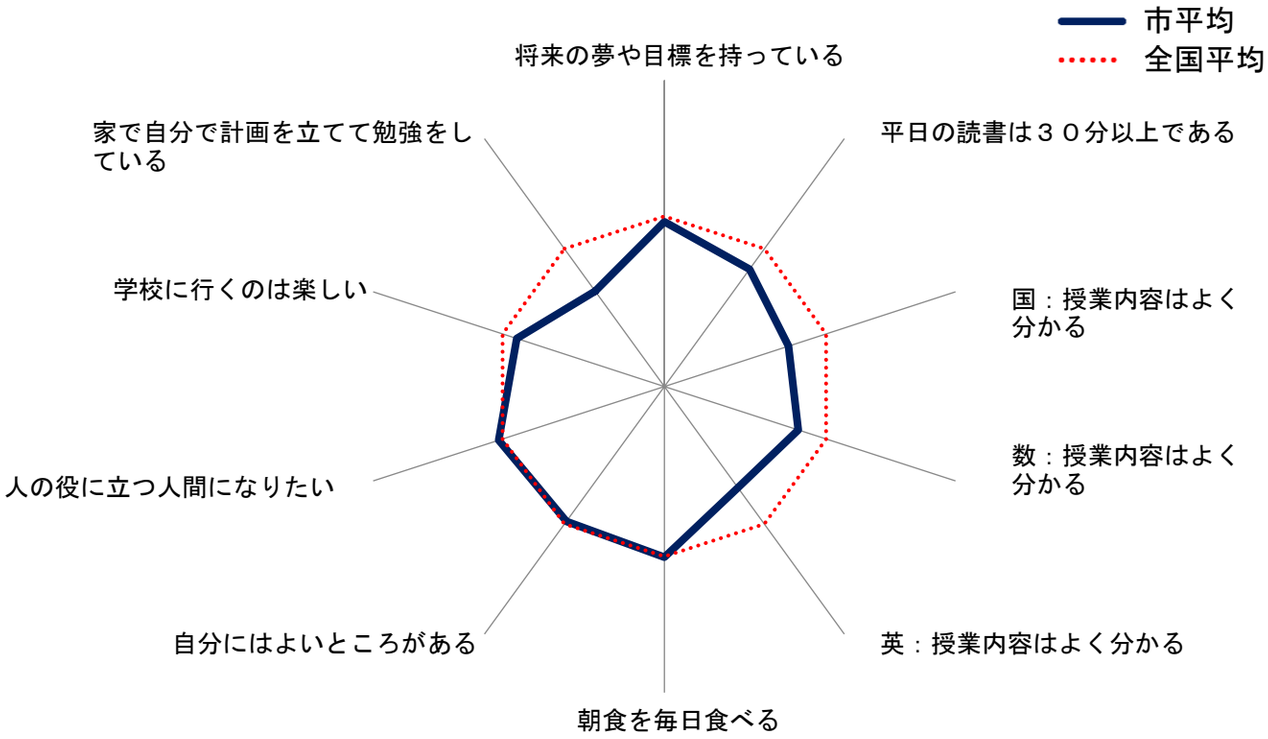


中学校

令和５年度　全国学力・学習状況調査
（学習や生活の状況）結果

四国中央市

○　生徒質問紙調査（全国の平均回答率との差：肯定的な回答）



○　結果の分析と改善策

教科に関する調査では、全ての項目が全国平均を下回っている。特に、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、数学の「図形」、英語の「聞くこと」「書くこと」の項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、設問ごとに詳細な分析を行うことで成果と課題を明確にするとともに、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かし、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や読解力の向上が望まれる。

生徒質問紙調査では、「朝食を毎日食べる」の項目が前回調査に比べて改善傾向にあるが、全ての教科の「授業内容はよく分かる」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目が、全国平均を大きく下回っている。今後は、生徒にとって「分かる、できる」を実感できる授業になるよう、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図った好事例を共有するとともに、主体的に学習に取り組む態度を高める教育活動を推進することが望まれる。